

2019年12月2日

報道関係者各位

湘南ヘルスイノベーションパーク

横浜国立大学、ヘルスケア MaaS の研究拠点を 湘南ヘルスイノベーションパークに設置することを発表

湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）と横浜国立大学（所在：神奈川県横浜市、学長：長谷部 勇一）は、11月26日に開催された「YNU 研究イノベーション・シンポジウム 2019」において、横浜国立大学が創出を目指すヘルスケアとモビリティを結び付けた新たな産業「ヘルスケア MaaS」の研究拠点を、湘南アイパークに立ち上げることを発表しました。今後、湘南アイパークと横浜国立大学は本研究における連携を目的に、覚書を締結する予定です。

MaaS (Mobility as a Service) は、さまざまな交通手段による移動（モビリティ）をサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新しい移動の概念です。横浜国立大学は、この MaaS を医療、介護、健康などに適用し、ヘルスケアの新たな価値を生み出すことを目的に「ヘルスケア MaaS」を展開していきます。ヘルスケア分野におけるアカデミアや企業、そして自治体が集結している湘南アイパークが、この新たなヘルスイノベーションの研究拠点となります。

今回の連携について、湘南アイパーク、ジェネラルマネジャーの藤本利夫は次のように述べています。「横浜国立大学が湘南アイパークを拠点に多くの企業と連携して、どのように「移動」の概念を再定義し、医療と交通、さらにはまちづくりのあり方を大きく変えていくのかを楽しみにしています。このヘルスケア MaaS を通じて、湘南アイパークのオープンイノベーションが、ヘルスケア分野の新たなビジネスやスタートアップ、プロジェクトの創出に貢献できることを喜ばしく思います」

今後、横浜国立大学は、ヘルスケア MaaS の研究拠点となる「YNU イノベーションハブ・ヘルス（仮称）」を湘南アイパークに開設し、産学官が連携するオープンイノベーションを展開していきます。

横浜国立大学 (YNU)

横浜国立大学は、4つの旧制学校を母体に1949年に新制大学として設立した総合大学で、横浜市保土ヶ谷区常盤台のワンキャンパスに5学部・5大学院を有しています。「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを憲章として宣言しています。横浜国立大学に関する詳しい情報については、Web サイトをご覧ください。<https://www.ynu.ac.jp/>

以上

湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、サイエンスにおけるイノベーションを強化するために、武田薬品工業株式会社が湘南研究所を開放することにより設立されました。製薬企業が有する創薬ノウハウを基盤として、ベンチャー、スタートアップを含む産官学が結集し、ライフサイエンスにおける最先端技術・知見を活用したアイデアの創出・実現を可能とするイノベーションを加速化することを目指しています。



本プレスリリースについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

湘南ヘルスイノベーションパーク

コミュニケーション担当：外川、日比野

Mail : smb.iParkcommunication@takeda.com

広報窓口：株式会社コスモ・ピーアール内

担当：藤崎

TEL: 070-1592-5490 Mail : ipark@cosmopr.co.jp

横浜国立大学

産学・地域連携課長 岸 信治

Tel : 045-339-3073